

## 小学校プール民間施設活用事業について

### 1 事業目的

市内小学校のプール施設については、設置後数十年が経過し施設の老朽化が進んでいるものが多く、使用頻度に対して維持管理に係る負担や、プール授業実施に係る教職員の事務負担も大きくなっています。

また、学校のプール授業については、近年の外気温上昇により WBGT（暑さ指数）等を基に熱中症リスクが高い日は授業中止の判断がなされやすく、使用可能時期が限られるなど、そうした環境への対応が重要となっています。

こうしたことから、令和8年度から、民間施設を活用したプール授業を実施するものです。

### 2 事業概要

●対象児童：

市内11小学校のうち、井田川小学校及び川崎小学校を除く9校の全児童（亀山東小学校は令和9年度から、関小学校は令和10年度から開始予定）

●実施施設：市内民間プール施設

●実施回数：4回／年×60分程度（1回の入水時間）

●実施期間：5月頃～翌年2月頃までの期間（各校と調整）

### 3 民間活用の有利性

室内プール施設であるため、天候や気温の影響が少なく、年度当初に各学校間の調整を行うことで授業計画が立てやすく、授業時期についても柔軟な対応が可能となります。

費用面においては、今後の改築を想定した場合、井田川小学校及び川崎小学校を除いた学校において年間借上料の方が安価となります。とりわけ、修繕料も含むランニングコストのみの比較においては、昼生小学校、野登小学校、白川小学校及び加太小学校において年間借上料の方が安価となります。

### 4 予算措置等

令和8年度	：	6,000千円	（予算額）
令和9年度	：	9,100千円	（計画額）
令和10年度以降	：	10,700千円	（計画額）

【費用試算】

(単位：千円)

学校	今後の改築費含んだ年間想定コスト※	ランニングコスト (過去3年平均)	民間施設を活用した場合の年間借上料	民間施設活用の有無
亀山西小学校	7,513	2,913	3,380	有 (R8～)
亀山東小学校	10,169	969	2,911	有 (R9～)
亀山南小学校	5,109	509	614	有 (R8～)
昼生小学校	5,570	970	291	有 (R8～)
井田川小学校	3,874	807	4,759	無
川崎小学校	2,157	624	2,970	無
野登小学校	5,417	817	377	有 (R8～)
白川小学校	5,675	1,075	264	有 (R8～)
神辺小学校	3,743	676	759	有 (R8～)
関小学校	5,581	981	1,565	有 (R10～)
加太小学校	5,503	903	172	有 (R8～)

※今後30年間 (R37まで) に発生が想定される大規模改修費用を、単年度費用として均等に割ったもの。

【民間活用と他方式との比較 (アンケート結果含む)】

●民間施設活用 (R7：昼生小学校)

- ・年間通して水泳授業ができ、教職員の負担軽減にも一定程度効果があった。
- ・各個人の能力を把握し、その子にあったコーチングを実施できた。
- ・児童、保護者の感想としては概ね良好であった。
- ・微調整は必要であるものの、全体的に大きな課題が見受けられなかった。

●市施設 (B&G海洋センター) 活用 (R7：白川小学校、加太小学校)

- ・年間通して水泳授業ができ、教職員の負担軽減にも一定程度効果があった。
- ・一般の方に迷惑が掛かっていないか、また盗撮はないか等の配慮が必要であった。
- ・学校からの用具の持ち込みが想像以上に負担となった。
- ・児童の感想としては概ね良好であった。

●親子方式 (R6：野登・白川小学校、亀山南・昼生小学校)

- ・通常プール作業が削減できた一方で、事前調整が多く、教職員の負担軽減には至らなかった。
- ・夏季に期間が限定され、親側のプール時間調整が非常に大変であった。雨天時の再調整は極めて困難と考えられた。